

東京家政大学〔狭山会場〕

公開講座 2022

後期講座のご案内

受付期間 【一般の方／在学生】

8月29日(月)～9月20日(火)



東京家政大学ヒューマンライフ支援機構 地域連携推進センター

生活を豊かにし、 生きる活力を高めることができる 「生涯学習社会」を目指して

東京家政大学ヒューマンライフ支援機構
地域連携推進センター

所長 池森 隆虎



我々は生涯を通して学び続けることで、生活を豊かにし、生きる活力を高めることができると思います。その実現のため、「東京家政大学地域連携推進センター（CommuliC）」は、地域とともに「生涯学習社会」を目指すことを大学の使命とし、「地域問題解決に向けた連携・協力関係の構築」を目的にして、これまで様々な活動を行ってきました。

本センターでは、本学の教育・研究の成果を地域社会で活用していただけるように、工夫を凝らした創造性豊かな事業を展開しております。その事業は、各学部や数多くの附置機関とも連携しており、地域社会に存在する課題の解決のために、充実した学修機会の提供をしてまいりました。加えてセンターの事業体系である、①地域社会と連携協力した調査研究、②本学が行う教授活動の地域社会での具現化、③実践的な教育研究活動を通しての地域社会との連携を行ってまいりました。さらには、本学の研究分野に関連する情報提供やボランティアの紹介などの事業も行っております。

今後も本学の教育・研究の成果を地域や社会の課題解決に向けた諸事業・取り組みを推進してまいりたいと考えております。どうぞ皆様のご支援・ご協力、そして社会の充実に向けたご提案を心よりお願い申し上げます。

令和3年度より、生涯学習センター（板橋）と地域連携推進センター（狭山）は、組織統合されて学内の業務が一本化されることになりました。これにより事業の連携や効率化を進めることができると期待されます。しばらくは統合による不具合も生じることがあるかもしれませんが、温かい目で組織の成長を見守って頂けると幸いです。

なお、本年度は新型コロナウイルス感染症対策の関連で講座や行事などのプログラムが予定されていた内容を変更・中止される場合がございます。今後の状況推移によりましては、さらに皆様にご不便をおかけすることもあるかと存じますが、何卒よろしくお願い申し上げます。

講座番号

狭山

1

絵本の魅力を探そう ～子どもの発達と絵本選び～

講師：野口 隆子（のぐち たかこ）

講座概要

皆さんは今までにどんな絵本にふれてこられましたか？様々なメディアが普及し、「出版不況」といわれる現在においても、児童書の売れ行きは好調だといわれています。毎年数多くの新しい絵本が出版されていますが、どのような絵本があるのでしょうか。そして子どもの成長・発達にとって絵本や物語はどのような意味をもつのでしょうか。絵本の特徴や基礎的な知識とともに、あらためて絵本の持つ魅力について考えてみたいと思います。

講座スケジュール

日時	土曜日（全1回）11:00～12:30	定員	20名
① 11月12日（土）	子どもの成長・発達のための絵本とは？絵本の特徴や基本的な知識を学びましょう	受講料	一般 2,000円
11月19日（土）	予備日 （開講日に実施できなかった場合のみ）	持ち物	絵本1冊（可能であれば子ども向けのもの）



講師：野口 隆子（のぐち たかこ）

東京家政大学子ども学部准教授（子ども支援学科）

大学院：児童学児童教育学専攻 / 人間生活学専攻

立教大学文学研究科心理学専攻修士課程修了（心理学修士）

お茶の水女子大学大学院人間文化研究科人間発達学専攻博士課程単位取得退学

白梅学園大学大学院子ども学研究科子ども学専攻博士課程修了（子ども学博士）

本学では、子どもと言葉、保育内容「言葉」の指導法、子ども支援論などを担当

著書：「絵本の魅力：その編集・実践・研究」（部分執筆）など

講座番号

狭山

2

漢方を学び自分の体質を知ろう ～より漢方・薬膳を身近に利用するために～

講師：吉村 吉博（よしむら よしひろ）

講座概要

漢方医学（中医学）は、現代医学のような病名医学ではなく、体質や症状から治療する弁証医学です。現代医学と異なり病名がわからなくても自分の体質や症状から自分のからだの歪みを修正することができます。また、現代医学のセカンドオピニオンとして是非その基礎を勉強してみませんか。今回、その中医学の基礎を学び、自分の体質をみつめて、その体質に合った漢方薬についてお話しします。

講座スケジュール

日時	金曜日（全3回）14:30～16:00	定員	20名
① 11月18日（金）	漢方とは	受講料	一般 6,000円 在学生 3,000円
② 11月25日（金）	自分の体質を知る	持ち物	筆記用具
③ 12月2日（金）	体質に合わせた漢方薬		
12月9日（金）	予備日 （開講日に実施できなかった場合のみ）		



講師：吉村 吉博（よしむら よしひろ）

日本統合医療学園理事長 / 星薬科大学客員教授

星薬科大学大学院博士課程修了（薬学博士）。外務省 JICA 専門家としてビルマ国製薬開発センターに派遣指導、厚労省の派遣でアメリカ合衆国疾病対策予防センター（CDC）にて研究。星薬科大学助教授、日本薬科大学漢方薬学科教授、日本統合医療学園理事長・学長に至る。現在、東京農業大学非常勤講師、星薬科大学客員教授、漢方吉村薬局・漢方健康堂顧問を兼任。

講座番号

狭山

3

お口から健康を守る ～歯・口腔の健康と全身の健康との関係～

講師：久篠 奈苗（くしの ななえ）

講座概要

お口は、話す、食べる、呼吸する、表情をつくる働きがあり、生きていく上で重要な器官です。お口の管理は、むし歯や歯周病などの歯の病気から歯を守るためだけでなく、全身の健康にも大きな影響を与えることがわかっています。歯・お口の健康を守ることがどのような病気の予防や健康につながるのか、また、お口の健康管理の方法を知っていただき、生活に活かしていただきたいと思います。



講座スケジュール

日時	土曜日（全2回）11:00～12:30	定員	20名
① 10月29日（土）	歯・口腔の構造・疾患、全身との関連について	受講料	一般 4,000円 在学生 2,000円
② 11月12日（土）	歯磨きの効果、道具選び・磨き方、誤嚥性肺炎予防	持ち物	ハンカチまたはタオル、 筆記用具
11月26日（土）	予備日（開講日に実施できなかった場合のみ）		

講師：久篠 奈苗（くしの ななえ）

東京家政大学健康科学部准教授（リハビリテーション学科）

広島大学医学部保健学科卒業、長崎大学歯学部卒業、久留米大学大学院医学研究科修了（医学博士）。現在、東京家政大学健康科学部准教授。専門は、障害者歯科、歯科・口腔外科、産業保健。担当は、摂食嚥下機能学、他。作業療法士と歯科医師の経験を生かして、口腔を通じた健康増進の指導を行っている。

講座番号

狭山

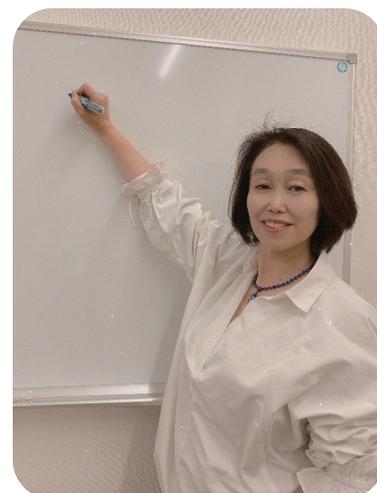
4

まさかの災害!? こころの健康を保つには

講師：齋藤 麻子（さいとう あさこ）

講座概要

毎年、各地で多くの災害が起こっています。過去の災害による被災地での支援活動中に耳にするのは「まさか自分たちが被災者になるとは思わなかった」という言葉と避難行動や備えに対する後悔です。災害を正しく恐れ、備えることで、冷静で適切な避難行動をとることや、災害関連死など被害を少なくすることができると考えます。今回は、台風や豪雨災害に焦点を絞り学びます。この講座をとおしてみなさまと一緒に、災害を「我がこと」として考え、「もしも」に備えることができればと思っています。



講座スケジュール

日時	火曜日（全2回）11:00～12:30	定員	20名
① 11月1日（火）	災害とは、まちに潜む危険！	受講料	一般 4,000円 在学生 2,000円
② 11月8日（火）	台風接近！備えとマイタイムラインを考えよう！	持ち物	筆記用具 可能であれば居住地の自治体が配布している防災本（ハザードマップ等）
11月15日（火）	予備日（開講日に実施できなかった場合のみ）		

講師：齋藤 麻子（さいとう あさこ）

東京家政大学健康科学部講師（看護学科）

本学では、精神看護学方法論、災害看護学Ⅰ・Ⅱ、精神看護の実践などを担当

著書：災害看護 心得ておきたい基本的な知識

講座概要

食品の安全・安心が世の中で問題になったことはこれまで数え切れませんが、2002年に起きた輸入冷凍ホウレンソウの残留農薬問題がひとつの転換点でありました。今回、私たちが食品を扱う上において何が重要な点かという点について、具体的に提案をさせていただきたいと思えます。普段の食生活を安心して過ごすために身近な話題を中心に、皆様と一緒に考えてまいりたいと思えます。



講座スケジュール

日時	土曜日（全1回）11:00～12:30	定員	20名
① 11月12日（土）	<ul style="list-style-type: none"> 食品添加物について 残留農薬について 食中毒菌について 自然天然とは 放射能汚染とは 	受講料	一般 2,000円 在学生 1,000円
11月19日（土）	予備日（開講日に実施できなかった場合のみ）	持ち物	筆記用具

講師：佐藤 吉朗（さとう よしお）

東京家政大学家政学部教授（栄養学科）

東京家政大学教授 生活科学研究所所長 農学博士【社会活動】（一社）オフフレーバー研究会会長、（公社）日本食品科学工学会評議委員、（公社）日本食品衛生学会生活活性化委員など。【専門分野】食品衛生学、食品分析化学、生物有機化学。【著書】「食品衛生学」、「食品の危害要因（その実態と検出法）」、「新しい食品衛生実験」、製菓衛生師教本」など。

講座概要

「この食品を食べれば健康になる」という食物はありません。逆に、「この食品を食べたら不健康になる」という食物もありません。様々な食物をバランスよく食べることが、体にも心にも一番です。栄養バランスの整った献立を考えるためのルールや目安を学び、シンプルな献立法をご家庭で実践できるよう、お話をさせていただきたいと思えます。



講座スケジュール

日時	木曜日（全1回）11:00～12:30	定員	20名
① 11月10日（木）	栄養のバランスとは何か？／ 1日に取りたい食品と分量／家族の献立	受講料	一般 2,000円 在学生 1,000円
11月17日（木）	予備日（開講日に実施できなかった場合のみ）	持ち物	筆記用具

講師：角南 祐子（すなみ ゆうこ）

東京家政大学短期大学部特任講師（栄養科）

順天堂大学大学院修士課程修了（健康科学修士）本学では、給食管理学、給食管理実習などを担当
主な著書「給食経営管理テキスト（学建書院）」

自分自身の「心」と「身体」に向き合おう！

～作業療法士・理学療法士の視点から～

主任講師：後藤 寛司（ごとう ひろし）

講師：下田 信明（しもだ のぶあき）

講師：齊藤 展士（さいとう ひろし）

講座概要

日頃から運動や趣味など様々な活動をしているからといって健康面に安心をしていませんか？心や身体の衰えは自分自身が気付かない間に進んでいくものです。この講座では、心や身体の衰えは何が原因なのか、どのように衰えていくのか、衰えを防ぐには何をすればよいのかに関して、リハビリテーション専門職の観点から説明します。今回、今の自分自身の運動機能はどのような状態なのか測定してみましょう。この機会に自分自身の心と身体に向き合ってみませんか？

講座スケジュール

日時	内容
① 10月11日(火) 13:30～15:00	【心と向き合う】 認知症・老年期うつに関する医学的基礎知識、予防に関する基本的考え方・方法を解説し、その後、簡単な運動課題・認知課題の同時実践を体験します。
② 10月18日(火) 13:30～15:00 15:20～16:50	【身体と向き合う】 運動機能の衰え、特にロコモティブシンドロームに関する医学的基礎知識や予防方法などに関して解説をします。その後、ロコモ度テストを行います。最後に、予防方法などに関連した運動を行います。
10月25日(火)	予備日(13:30～15:00、15:20～16:50) (開講日に実施できなかった場合のみ)

定員	20名
対象	医師や専門家から運動を中止されていない方
受講料	一般4,000円 在学生2,000円
持ち物	室内用履き物、動きやすい服装(トレーニングウェアなどご自宅にあるもの) タオル、飲み物



講師：後藤 寛司（ごとう ひろし）

東京家政大学健康科学部教授
(リハビリテーション学科理学療法学専攻)

平成11年、北里大学医療衛生学部を卒業し、理学療法士の国家資格を取得。その後、北里大学大学院医療系研究科(博士課程)を修了し、博士(医学)を取得。理学療法士としては、一般総合病院や訪問看護ステーションなどのリハビリテーション部門にて非常勤職員として勤務。豊橋創造大学を経て、平成30年より東京家政大学健康科学部(教授)に着任。専門分野は、バイオメカニクスや老年学を中心に、ヒトの動作分析や地域在住者への運動介入に関する研究に従事。

講師：下田 信明（しもだ のぶあき）

東京家政大学健康科学部教授
(リハビリテーション学科作業療法学専攻)

作業療法士、博士(保健医療学)。7年間の病院勤務後、2つの大学勤務を経て、現在、東京家政大学健康科学部リハビリテーション学科教授。脳卒中上肢機能・高次脳機能障害や認知症への作業療法、および在宅ケア・地域リハビリテーションを専門とする。手の心的回転課題における応答時間および脳活動に関する研究を中心として研究活動を行っている。日本在宅ケア学会理事。
編書：リハビリテーション基礎評価学、ADL(共に、羊土社)。

講師：齊藤 展士（さいとう ひろし）

東京家政大学健康科学部准教授
(リハビリテーション学科理学療法学専攻)

北海道大学大学院医学研究科にて博士号取得(医学)。現在、健康科学部教授。リハビリテーション科学、神経科学を専門とし、脳と運動・姿勢の関係について探求している。担当は理学療法評価学、運動療法学、運動学演習など。運動制御と運動学習に関する研究、バランス障害に対する理学療法に関する研究などニューロサイエンスやバイオメカニクスの分野を中心に臨床への還元を目指した研究に携わる。

1 新型コロナウイルス感染拡大防止対策について

地域連携推進センター（板橋）では、新型コロナウイルス感染拡大防止対策を講じております。なお、今後の情勢および大学の判断により、講座内容の変更や講座を中止する場合があります。（決定後はHPにてお知らせします）。

- 基本の感染予防対策は、①検温 ②手洗い ③うがい ④アルコールによる手指消毒
⑤マスク着用（不織布推奨）⑥咳エチケット（大声はださない、近距離での会話は避ける）
- 以下の方は受講をお控えください。
 - ①平熱+1度以上又は37.5度以上熱のある方
 - ②体調のすぐれない方（発熱、息苦しさ、強いだるさ、軽度の咳・咽頭痛などの症状のある方）
 - ③同居家族や身近な知人に新型コロナウイルスに感染症陽性者及び疑われる人との濃厚接触がある場合
- 学内入場時にはマスクを着用し、検温およびアルコール消毒液による手指消毒を行っていただきます。また教室入口にアルコール消毒液を設置していますので、教室への入退室時には必ず消毒の徹底を励行してください。
- 受講日は、ご自宅で検温のうえ、「出席・健康チェック票」を提出していただきます。
- 教室内の教卓に除菌用洗剤とペーパータオルが設置されておりますので、各自の机や椅子を拭く際にお使いください。
- 教室内の席は、座席指定となります。（コロナウイルス感染症陽性者及び濃厚接触者が判明した場合に備える為ですのでご協力をお願いいたします）。
- 教室の換気の為に窓や出入口開放などで室温が一定しない場合もありますので、服装による調整をお願いいたします。
- 受講期間中、またはその後10日間以内にご自身のコロナ感染が確認された場合（陽性者）および濃厚接触者になった場合は、必ず当センター（板橋）迄ご連絡ください。本学新型コロナウイルス感染症対策の基本方針に基づいて対処いたします。

2 注意事項

現在、大学は新型コロナウイルス感染拡大防止対策を講じております関係で、**講座前後の学生食堂、図書館などのご利用はご遠慮いただいております。**

また、午前と午後の異なる講座を受講する方は、午前の場所に限り持参の飲食をすることができます。但し、他の場所への移動はご遠慮ください。

- ①教室は前の授業で使用している場合もあります。**講座開始時刻の10分前から教室入室可能です。**教室入口の講座名をご確認のうえ入室してください。使用教室以外の入室はご遠慮ください。講座終了後は速やかにご退室ください。
- ②構内は全面禁煙です。該当以外の建物への立入はご遠慮願います。
- ③欠席連絡は不要です。講座の出欠席は、担当講師が教室で確認します。
- ④教室内の飲食はご遠慮願います。（水分補給は可能です）

- ⑤他の受講生の迷惑となるような行為、講座の進行を妨げるような行為を行った場合受講をお断りする場合があります。
- ⑥住所等を変更された場合は速やかに当センター（板橋）までご連絡ください。
- ⑦貴重品は必ず手元に置き、盗難・紛失にはご注意ください。
- ⑧講座参加中のケガ・事故を除く病気の発病や物品等の紛失及びその他の事故につきまして当センターは一切の責任を負いかねます。
- ⑨教室内では許可なく録音・録画・撮影することはできません。
- ⑩講座によっては、同意書の提出をお願いしています。
- ⑪親子講座以外のお子様と同伴の受講はご遠慮ください。

3 休講・予備日

予備日は開講日の講座が実施できない場合のみの日程となりますので、講座が実施された場合は、予備日に講座を行うことはありません。

- ①講師の都合及び事故、台風、ストライキ等により、やむを得ず休講する場合があります。その場合は、あらかじめ示している予備日に実施いたします。講師を変更による代講で実施する場合があります。
- ②休講および予備日の実施連絡は、事前に判明した場合には、直接ご連絡いたします。また、事前に判断しかねる場合や、当日判明した場合は大学ホームページ地域連携推進センター（板橋）にてお知らせします。
- ③補講に出席できない場合でも、返金はいたしかねます。

4 臨時休講 緊急事態発生時の講座等対応については、下記の表のとおり対応します。

【気象警報の場合】

- ①各時限の講座開始 2 時間前から終了時間までの間に警報下に置かれた時間帯があった場合、その時限の講座を休講とする。
- ②各時限の講座開始 2 時間前から終了までの時間帯の途中で、警報が解除された場合でも変更しない。
※ただし、台風や大雪など、気象状況が時間の経過とともに悪化し、数時間後には警報の発表が予測される場合、休講の措置を行うことがある。

解除時間	午前の講座	12：00 以降に開始の講座	18：00 以降に開講の講座
～ 07：00	通常通り開講	通常通り開講	通常通り開講
7：00～10：00	休講	通常通り開講	通常通り開講
10：00～15：00	休講	休講	通常通り開講
15：00～	休講	休講	休講

その他、大学が休講措置をとった場合にはこれに準じます。台風の接近が予期される場合には、休講のご連絡を個別に行い、またはホームページにおしらせを掲載することがあります。

【気象警報の対象】

気象庁から、東京 23 区全域（西部および東部）に大雨・洪水・暴風・暴風雪・大雪警報のいずれかが発表された場合：気象庁の発表については気象庁ホームページを参考にしてください。

http://www.jma.go.jp/jp/warn/319_table.html

【交通機関のストライキ等の場合】

解除時間	午前の講座	12:00以降に開始の講座	18:00以降に開講の講座
～07:00	通常通り開講	通常通り開講	通常通り開講
7:00～10:00	休講	通常通り開講	通常通り開講
10:00～15:00	休講	休講	通常通り開講
15:00～	休講	休講	休講

【交通機関のストライキ等の対象】

首都圏のJR、東武鉄道、都営地下鉄がともに全面運休。

→対象の路線や地域以外でも、上記理由により出席に支障をきたした場合は、当センター（板橋）に申し出る。

【災害時の対応】

学内で地震や災害に遭ったら、あわてずに当センターの指示に従って行動してください。

5 キャンセル・変更

①申込完了後のキャンセル・変更による受講料・教材費の返金には応じられません。ただし開講前やむを得ない場合は所定のキャンセル料・返金手数料・事務手数料を差し引いて、申し出日以降本人名義の銀行口座に残金を返金いたします。なお、当該年度内に手続きに必要な書類をご提出頂けない場合は、返金の権利を放棄したものとみなします。

②開講後のキャンセルは、受講料・教材費等の返金はいたしませんのでご了承ください。

※受講料がキャンセル料を下回る場合は、受講料全額をキャンセル料として納入いただきます。

◆キャンセル料

- ・講座初回の前日から起算して8日前まで 1,000円
- ・講座初回の前日から起算して7日前から前日まで 3,000円

◆返金手数料

一律 1,000円

《板橋会場・狭山会場 公開講座に関するお問い合わせ先》

東京家政大学 ヒューマンライフ支援機構 地域連携推進センター（板橋）

〒173-8602 東京都板橋区加賀1-18-1

TEL 03-3961-5742 FAX 03-3961-5743

【狭山会場へお申し込みの方へ】

当センターより郵送物はすべて板橋校舎（会場）より発送しております。

受講申し込み後、不備などが生じた場合は、個別に電話連絡をする場合があります。

その場合、**市外局番 03-3931-5742** より着信表示となりますことをお知らせいたします。



過去の講座風景

【健康長寿をのぼす養生法】

- ・ ストレス養生の呼吸法を実践しながら会得できてとても良かった。今後の生活に取り入れて行きたいと思います。
- ・ 元気をいただける講座で参加し大変良かったです。
- ・ 充実した内容でした。奥の深い内容を教えていただいたようです。知識をもらいました。ありがとうございます。

【お口を鍛えて健康長寿をめざそう】

- ・ 日常に使えるようなことがたくさんありました。健康生活に役立てていきたいと思います。
- ・ とても詳しい資料もあり満足できる講座でした。日頃歯には気をつけていますので、講師の先生が歯科医とのことでそれもうれしかったです。

受講生の声

【老年期を健やかに心豊かに暮らす生き方・考え方】

- ・ 心理学的観点から老いのプラス面のお話しは興味深かった。
- ・ 分かっている様な事でも改めて考え直したりする良い機会でした。とても良かったです。
- ・ 生きて行くための希望となりました。

受講申し込みについて

Q 電話で受講申し込みはできますか？

A 原則として電話での申し込みは受付ておりません。本誌巻末の「受講申込書」にご記入のうえ FAX または郵送にてお申し込みください。講座開講が決定した場合には、当センター（板橋）より受講料等の振込用紙及び講座関係書類を郵送いたします。

Q 女子大学ですが、男性も受講できますか？

A 性別・年齢に関係なくどなたでも受講できます。ただし、講座により受講条件が付いてくる講座がありますので、各講座案内をご覧ください。

Q 受講料のほかに必要な費用ありますか？

A 事務手数料 300 円負担となります。

また、講座によっては教材費が必要な場合があります。各講座の紹介ページでご確認下さい。

受講について

Q 予備日とは何ですか？

A 開講日の講座が実施できない場合のみの日程です。講座が実施された場合は予備日に講座を行うことはありません。

Q テキストは事前に受け取れますか？

A テキストは講座初日に配布いたします。

Q 講座を欠席したのですが、連絡は必要ですか？

A 欠席連絡は不要です。

Q 講座を欠席した時の資料はもらえますか？

A 後日郵送いたします。

Q 教室には何分前に入室できますか？

A 教室は前の授業で使用している場合もあります。講座開始前 10 分前から教室の入室可能です。

その他

Q 車で通えますか？

A 駐車場がございませんので、車での来校はご遠慮ください。公共交通機関をご利用ください。

Q 講師や受講生の連絡先を教えてくださいませんか？

A 個人情報保護のため、講師や受講生の連絡先は、お教えできませんのでご了承下さい。また、受講生同士で個人情報を交換される場合は、各自の責任において行ってください。

Q 当センターから送られてくる資料や案内の発送を停止できますか？

A できますので、当センター（板橋）までご連絡下さい。

2022 後期 公開講座受講申込書ウラ面

FAX番号

03-3961-5743

— 個人情報の取扱いについて —

受講申し込み時にお知らせいただいた個人情報については、下記の通り取扱いますのでご了承ください。

また、個人の情報についての訂正・削除等を希望される場合は、当センターまで文書でお申し出ください。

記

1. 受講生管理を行うためのデータベースとして、当センターが管理します。管理する個人情報は住所・氏名・フリガナ氏名・電話番号（自宅・FAX）・携帯電話・E-mail・生年月日・年齢・性別・受講履歴（受講経験がある場合）の11項目です。
2. 上記の個人情報は受講生名簿の作成・出席表の作成・受講生への連絡用宛名作成・緊急の際の電話連絡に使用します。

お申込みの前にお願い

パンフレットをご覧くださいましてありがとうございます。このパンフレットは2か月前に作成しております。新型コロナウイルス感染症の影響及び感染拡大防止対策の為、プログラム内容を変更する場合があります。講座の受付、開講・中止などについては、大学ホームページを通じてお知らせいたしますので、ご確認をお願いいたします。ホームページをご確認の上、お申込みください。

URL : https://www.tokyo-kasei.ac.jp/society/open_college/

スマートフォン
携帯電話の方は
簡単 QR コードで



受講（一般の方）申込方法

当センター窓口での受講料等のお支払いは受け付けておりません。

1	受講申込み	公開講座（狭山会場・板橋会場）の受付は全て板橋校舎にて行なっております。受講申込書にご記入のうえ、FAXまたはハガキでお申し込みください。 ●申込み者が定員を超えた場合は抽選のうえ確定いたします。
2	コンビニ払込み用紙、 関係書類の郵送	受講生が一定人数に満たない場合は中止となります。その場合は、郵送で連絡します。講座開講が決定した場合には、受付期間終了後一週間以内に当センターより受講料等のコンビニ払込み用紙及び講座関係書類を郵送いたします。
3	受講料等 コンビニ払込み（前納）	所定の金額を郵送された書類に従ってお支払いください。 （事務手数料300円負担となります。）受講申し込みと所定の受講料の払い込みをもって受講手続き成立となります。
4	講座開講	講座初日は、関係書類郵送時の封筒をご持参ください。初回入構証を兼ねております。入構時、守衛所にてご提示いただき各教室へお入りください。初回受講時にフォルダー入の「受講証・入構証」をお渡しいたします。 2回目以降は、守衛所にてご提示のうえお入りください。

東京家政大学
ヒューマンライフ支援機構

地域連携推進センター

公開講座（狭山会場・板橋会場）に関する受付・お問い合わせは全て板橋校舎（会場）までお問い合わせください。

板橋校舎（会場）

住所 〒173-8602 東京都板橋区加賀 1-18-1
TEL 03-3961-5742 FAX 03-3961-5743
E-mail syogai@tokyo-kasei.ac.jp
URL https://www.tokyo-kasei.ac.jp/society/open_college/
受付時間 平日 9:00～17:00 土曜日 9:00～12:00

狭山校舎（会場）

住所 〒350-1398 埼玉県狭山市稲荷山 2-15-1
TEL 04-2955-6959 FAX 04-2955-6929
E-mail chiiki@tokyo-kasei.ac.jp
URL <https://www.tokyo-kasei.ac.jp/society/commulic/index.html>
受付時間 平日 9:00～17:00 土曜日 9:00～12:00

1738602

（受取人）

東京家政大学

地域連携推進センター 行

郵便はがき

63円切手を
お貼りください

三ツ線線から切り離してご使用ください。